

図書館 倶楽部 ってなに？

図書館利用者の利用支援や図書館の利用促進を目的としたボランティア団体です。
 “また行きたくなる・学びたくなる図書館”を創るためメンバーが一丸となって頑張っています。

昨年度は初の試みとして **読書会** を行い、読書への親しみを深めることができました。

その他、年に2回開催される **ブックハンティング** の受付を行ったり、会場の設営を行ったりしています。

ビブリアバトルも年に1回、全国の大学生が参戦する大会の地区予選を本学で開催し、自分たちも参加者となり盛り上げています。

普段は図書館の **カウンター業務** をやったり、**館内展示** をやってみたり、自由に活動しています。皆さんが今読んでいるパンフレットの作成も手がけています。

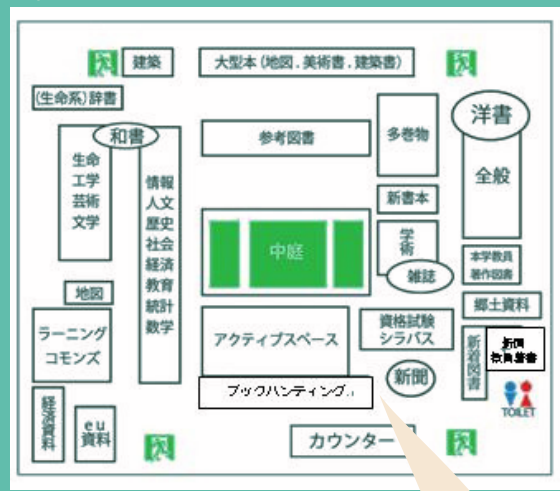
図書館に詳しくなれる 自由度が高い =やりたいことができる

…等々、本好き・大学入学を機に新しいことを始めてみたい方にぴったりのボランティアです。

メンバー募集中!

図書館案内

↑ 図書館本館(15号館)



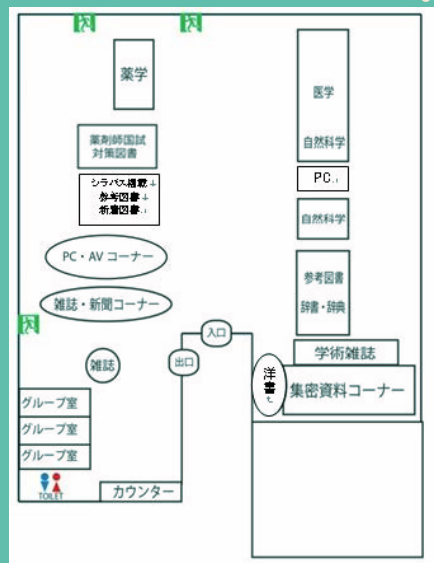
各図書館では、**ipad** の貸出や、雑誌や本の **リサイクルコーナー**、**ノートパソコン** の館内貸出、**グループ学習室** の利用申請受付などを行っています。

貸出可能冊数

	図書	消耗図書
1～3年生	5冊(15日以内)	3冊(1週間以内)
4年生以上	10冊(1か月以内)	

利用時間：月～金 8:30～19:30
 土(本館) 8:30～16:30
 土(分館) 8:30～15:00
 (日・祝祭日、本学の定めた休日は休館)

↑ 図書館分館(34号館)



図書館にない本は購入希望を出すことができます。※学生限定サービスです



Library News

Vol.11

新入生歓迎♥特集号

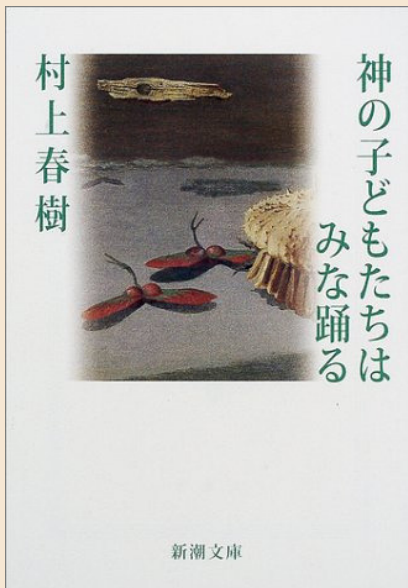
図書館倶楽部ってなに？
 図書館案内
 この本読んでみて！
 卒業生から新入生へ！



発行:図書館倶楽部
 Tel:084-936-1589(附属図書館本館 直通)
 広島県福山市学園町1番地三蔵

神の子どもたちはみな踊る

村上春樹 (2002年・新潮社)



この本

この本は村上春樹さんの短編小説集で、主に「震災と少しだけ関係のある人々」をテーマとして、悲劇や希望を生々しくもファンタジーを交えて描いている一冊です。

私が特におすすめしたいのは「かえるくん、東京を救う」というお話です。タイトルからはどういうことなのかさっぱりというような印象を受けますが、読み出すとまるで絵本を読んでいるかのようにどこかがわいらしい主人公とかえるくんのやりとりから衝撃的なラストまでの過程にきっと惹きこまれてしまうでしょう。震災や災害が身近に感じられつつある今だからこそ読んでもらいたい本です。

みねまつさん (人間文化学科2年)

ふじいさん (人間文化学科3年)

「戦争は嫌だ。勝敗はどちらでもいい。はやくすみさえすればいい。」

いわば、正義の戦争より

不正義の平和の方がいい」

□に出さなくともこのように考える人はやっぱりいたのか、

と初めて読んだとき、驚いた。福山出身

の作家である井伏鱒二の作品であり、

舞台も福山付近の地域だ。

井伏鱒二については

人間文化学科の青木先生のゼミでも

研究されている。

大学で何をするか定まっていらないなら、

一回読んでみるのもありでは？

読んでみて！



黒い雨

井伏鱒二 (1970年・新潮社)

2018年度卒業生から 新入生へ！

ひじ ゆきみ さん (人間文化学科卒)

私は皆さんが積極的に図書館を利用することをおすすめします。これからの学生生活において、皆さんの助けになると思います。

例えば授業で資料が必要になった時、

インターネットよりも確実な情報を見

つけることができます。必要な書籍がな

った場合は、購入希望やブックハンテ

ィングを通して図書館に所蔵してもら

うこともできます。また、自習スペース

やパソコンの貸出も行われているので

勉強に最適な空間です。

季節ごとに各種イベントも行われ

ているので、ぜひ図書館を利用して

みてください！

ひじ まなみ さん (人間文化学科卒)

これから大学生活を送る皆さんには、

たくさんの出会いが待っていること

でしょう。その出会いのひとつがこの

図書館です。多くの蔵書と出会い、

そして触れあうことで、

知識を蓄えることができます。また

福ぶくろ書店(ブックハンテイング)や

ビブリオバトルを通じて新たな本と

出会ったり、懐かしい本と再会したり

することもあるでしょう。もちろん、

ただ本と出会うだけでなく、

皆さんの学生生活を支える資料も

多くあります。

ぜひ図書館を活用してみてください！